

令和三年 六月 十六日 実施 一学年 前期中間試験 問題用紙

一年 組 番 氏名

国語

・注意事項を読んでから、問題に取り組みましょう。

・問題は問1から問7です。

読めない字、略字、二度書きなどは×とします。丁寧に書きましょう。

・特に書かれていない場合、句読点、記号も文字数に含みます。

・最後まで諦めずに、頑張りましょう。

問1 次の傍線部の漢字の読みはひらがなで答え、ひらがなは漢字に直して答えなさい。送り仮名が必要なものは送り仮名も書きなさい。

知各一点

- ① 激怒 ② 黙読 ③ 離陸 ④ 甘美 ⑤ 胚軸
⑥ 抑制 ⑦ 投影 ⑧ 上顎 ⑨ 秀丽 ⑩ 束縛
⑪ 物音におどろく。 ⑫ スピードいはん。 ⑬ 過去の行動をこうかいする。
⑭ 要点をほそくする。 ⑮ しんしゆくテープ。 ⑯ いせぎを探す。 ⑰ 街をはかいする。
⑱ みりよくある人。 ⑲ ほくろをてきしゆつする。 ⑳ 外出前にけしょうをする。

問2 四字熟語の問題です。それぞれの意味に合う四字熟語をあとの記号から選び、答えなさい。

知各一点

- ① 善をすすめ悪をこらしめること。 ② 清らかで少しも不正のないこと。
③ 世の中が平和で乱れがないこと。 ④ 良いものは選り取り悪いものは捨てること。

ア 完全無欠	イ 質実剛健	ウ 取捨選択	エ 勸善懲惡	オ 換骨奪胎
カ 空理空論	キ 清廉潔白	ク 安念秩序	ケ 惡戦苦闘	コ 森羅万象

問3 言葉のきまりに関する問題です。次の各問題の指示に従い、答えなさい。

- ① 次の各文について、意味は変えず、文法的に正しい文となるように直し、全文書きなさい。ただし、傍線部は変えないこと。

知各一点

- ① 私の将来の夢は、みんなを笑顔にするために働きたいです。
② 彼の趣味は、釣りをすることが趣味です。

- ② 次の文章は、いくつの文からできているか、その数字を答えなさい。

知一点

このところ、なにかも、うまくいっていない。このあいだのテストの成績が悪かった。母親は、課外の活動をやめろという。親しかった友達とは、ちょっとしたことから仲たがいをした。好きなCDを買うことが足りない。その他、具体的な形になっていないもやもやが、いくつもあった。

- ③ 次の文は、それぞれいくつの文節からできているか、その数字を答えなさい。

知各一点

- ① 大きなのっぽの古時計はおじいさんの時計です。 ② 学校の庭にかわいい犬がいる。
③ 新しいパフェを食べてみる。

知 各一点

(4) 次の文は、それぞれいくつの単語からできているか、その数字を答えなさい。

① 明日の朝食はカレーです。

② 私の弟は昨日、公園でボールを投げてみた。

知 各二点

(5) 次の文から、主語と述語の関係にある文節を探し、それぞれ記号で答えなさい。

※両方正解で一点です。

① ^ア隣の ^イ家の ^ウお兄さんは ^エ獣医です。

② ^ア嵐が ^イ過ぎ去った ^ウあとの ^エ空は ^オきれいです。

知 三点

(6) 主語・述語のある文を書きなさい。その際、以下の条件に従うこと。

条件

- 1、主語・述語が対応している文であること。
- 2、三文節以上の文をつくること。
- 3、今回のテスト問題にある例文をそっくりそのまま使わないこと。

問4 次の詩を読み、後の問いに答えなさい。

A あしたこそ たんぼぼはるか
 ひかりを おでこに
 くっつけて
 はなひらく ひを
 ゆめにみて
 たんぼぼわたげが
 まいあがります
 とんでいこう どこまでも
 あした
 たくさんの「こんにちは」に
 であうために

B おれはかまきり かまきりりゅうじ
 おう なつだぜ
 おれは げんきだぜ
 あまり ちかよるな
 おれの こころも かまも
 どきどきするほど
 ひかってるぜ

一連

おう あついぜ
 おれは がんばるぜ
 もえる ひをあびて
 かまを ふりかざす すがた
 わくわくするほど
 きまってるぜ

二連

知 一点

(1) 「のはらうた」の作者の氏名を漢字で答えなさい。

(2) A・B二つの詩どちらにもあてはまる特徴として、適切なものをア・エからすべて選び、記号で答えなさい。

思 二点

- ア 野生の植物になりきって書かれている。
 イ すべてひらがなで書かれている。
 ウ 野原の生き物になりきって書かれている。
 エ 野生の動物になりきって書かれている。

(3) 「とんでいこう。どこまでも あした … であうために」からわかる「たんぼぼはるか」の気持ちとして、適切なものをア〜エから選び、答えなさい。

思 二点

ア 知らない世界に行くことにとまどい、不安に思う気持ち。
イ 新しい世界で多くの出会いがあることに期待する気持ち。

ウ ちがう場所で、自分がどう変わるかを楽しみに思う気持ち。

エ これから行く世界がどんなところなのか疑問の思う気持ち。

(4) [B]の詩には、かまきりのどんな様子がうたわれていますか。適切なものをア〜エから選び、答えなさい。

思 二点

ア くじけそうな自分を必死にはげましている様子。

イ 生命力や気力がみなぎって張り切っている様子。

ウ 自分がいちばん強いと思いがっている様子。

エ 他の生き物を怖がらせようとしている様子。

(5) 「おれはかまきり」は一連と二連で言葉のリズムをそろえています。そのリズムが崩れているところがあります。詩の中からその行を一連と二連、それぞれから書き抜きなさい。

思 二点

問5 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

初めてシンタに会ったときはオドロイタ。中学校の入学式、そこに「僕がいる。」と思った。

身長も同じくらい、くせ毛の生え方も似ているし、二重の目のはばも、鼻筋の長さも。同じ制服を着ているから、なおさら僕にそっくりだった。^①僕たちはすぐに仲よくなった。まるで磁石が引き合うみたいに。

話をしてみると、好きなものも嫌いなものも同じだった。好きな食(物)つゆがたっぶりの牛(井)、好きな飲み物(炭酸の強いソーダ)、姉ちゃんがいるのも同じだし、蛇口から直接水を飲むのが好きで、靴下はうっとうしい。体育が好きで、音楽が苦手。

誕生日はチガッタし、名字も名前もチガウけど(それでも、僕はシュンタだ、十分似ている。)、僕とシンタはまるで双子だった。みんなは、僕たちのことをまとめて「シンシュン」とよんだ。そうよばれると僕たちは同時に振り返った。いつもいっしょだった。

シンタと話していると、話したいことがどんどんあふれてきた。シンタもそう言ってくれた。

「シュンタとなら、いくらでも話していられるよ。」

僕たちは自分自身と話しているようなものだった。笑うところも、怒るところも同じだった。

ある日、国語の授業で小説を読んだ。

短いお話で、全然明るくなくて、それどころか暗くて、悲しい話だったけど、僕はすごく好きだと思った。でも、どうして好きなのか全然説明できなかった。だから、シンタに話そうと思った。僕が好きなんだから、シンタも絶対に好きだろう。そしてシンタなら、その理由を教えてくれるにちがいない。

休み時間、僕はいつものようにシンタの席へ行った。待ち切れなかった。^②わくわくしながら小説の話を切りだすと、シンタは顔をしかめた。

「あれ、嫌いだ。」

^③頭をがつんと殴られたような気がした。

「暗くてさ。何が書きたいんだろう。」

僕は思わず、シンタといっしょにならずいた。

「そうだよな。僕も嫌い。」

その日は、^⑤ずっと苦しかった。

僕が好きなのを、シンタが嫌いと言ったことが悲しかった。「僕は好きだ。」と言えなかったことがクヤシカッタ。でも、シンタとチガウ自分は嫌だった。僕たちは好きなものや嫌いなものが同じだから「シンシュン」コンビなんだ。チガウところがあれば、僕らはきつといっしょにいられなくなる。それは嫌だった。絶対に嫌だった。

それから僕は、シンタと話すときに迷うようになった。

休み時間も放課後も、相変わらずシンタといっしょにいたけど、前みたいに話せなくなった。

^⑥僕はあたりまえのことばかりを話した。「雨が降っているね。」とか、「あしたは一時間目から体育だね。」とか。

シンタもなんだかおかしかった。僕と同じように口数が少なくなつて、僕みたいにあたりまえのことしか話さなかった。とうとう僕らは黙ってしまった。黙ってしまうと後はただ気まずくて、だから僕たちはだんだん離れていった。

クラスのみんなは「シンシュン」コンビがいっしょにいないことを心配してくれた。でも、僕たちは自分たちに何があったのか、みんなに説明することができなかった。

ある日、クラスメイトが僕に、

「^⑦シンタとけんかしたの。」

そうきいてきた。僕はそのときこう思った。ああ、けんかできたなら楽だろうな。何もしていないのに、こんなふうに気まずくなるなんて。僕は自分が情けなかった。そうだ、どうせなら、ちゃんとけんかしよう。勇気があることだったけど、こうやって気まずいよりはました。僕はシンタに話しかけた。

「シンタ。」

シンタは僕を見た。ちょっと怖がっているみたいに見えた。

「僕、あの小説が好きなんだ。」

「え？」

「あの、国語の小説。」

覚えていないかもしれない。急にこんなことを言うのは変だ。でも、そこから話をするしかなかった。僕は必死だった。だから、

「覚えているよ。」

シンタがそう言ってくれたときはオドロイタ。それから、こう続けたときも。

「僕が嫌いで言ったとき、シュンタが傷ついたのもわかった。」

気がついていんだ。謝ろうとした僕より先に、シンタが「ごめん。」と言った。

「僕たち、あれからちょっとおかしいな。ちょっとって言うより、だいぶ。」

「うん。なんか。」

「つまらないことばかり話してさ。」

「本当にそうだね。」

シンタと僕が久しぶりに話をしているのを、クラスメイトたちが見ているのがわかった。でも、^⑧僕は気にしなかった。

「僕、シンタと違うところを発見するのが怖かったんだ。」

シンタも、気にしていなかった。

「僕もー」

思ったより、大きな声が出たのだろう。シンタは照れくさそうに笑った。

「またシュンタを傷つけるのも怖かったしき。」

シンのその笑顔が、僕は好きだった。大好きだった。

「傷つかないよ。」

「え？」

「僕の好きなものをシンタが嫌いでも、僕は傷つかないよ。あ、うん、傷つくかもしれないけど、でも、じゃあ、だからこそ話そうよ。どうして好きなのか、どうして嫌いなのか。」

シンタはまっすぐ僕を見た。僕もシンタをまっすぐに見た。僕たちはそっくりだった。

「うん。話そう。」

そっくりだけど、全然チガウ人間なのだった。

「話そう。たくさん。」

^の僕たちはそれから、前にもまましておしゃべりになった。

(1) 傍線部①「僕たちはすぐに仲よくなった。」とありますが、「僕」とシンタが出会ったとたんには仲良くなった様子をどのようにたどっていますか。文章中から十五文字で書き抜きなさい。 思 二点

(2) 傍線部②「わくわく」した気持ちから「頭ががんと殴られたような」気持ちになったのはなぜですか。適切なものをア～エから選び、答えなさい。 思 二点

ア 自分が好きなものを絶対にシンタも好きで、案の定その通りで安心したため。

イ 自分が好きなものをシンタも好きだと思っていたが、ちがっていたので強くショックをうけたため。

ウ 普段うそをつかないシンタがうそをつき、びっくりさせてきたことに腹を立てたため。

エ 初めて自分の好きなものをシンタに嫌いと言われてびっくりし、受け入れることに時間がかかったため。

(3) 傍線部③「ずっと苦しかった」とありますが、「僕」が苦しかった理由について当てはまらないものをア～エから選び、答えなさい。 思 二点

ア 「僕」とシンタの考えが全て同じわけではないことを知ったから。

イ 「シンシュン」コンビの関係が、すでにこわれていたから。

ウ 自分の考えを、シンタにはっきりと伝えられなかったから。

エ 「僕」とシンタの好みがちがえば、関係が悪化しかねないから。

(4) 傍線部④「僕はあたりまえのことはかり話した。」とありますが、それはなぜですか。適切なものをア～エから選び、答えなさい。 思 二点

ア シンタのすきな話題で、シンタと仲直りしようとしたから。

イ シンタを怒らせないような話題を選んで話そうとしたから。

ウ シンタと感じ方がちがうかもしれない話題をさけたかったから。

エ あたりまえの話題なら仲が悪くても話すことができたから。

(5) 傍線部⑤クラスメイトに「シンタとけんかしたの。」ときかれた「僕」は、自分のどのようなことに気付きましたか。以下のように思いましたか。以下の条件にすべて従い書きなさい。 思 四点

条件

①「関係」「情けない」「勇気」の三つを必ず使うこと

②「何もしていないのに」思った」の形につながるように書くこと。

③ 四十五字以内で答えること。

(6) 傍線部⑥「僕は気にしなかった」とありますが、なぜですか。適切なものをア～エから選び、答えなさい。

思 二点

アいつものシNTAXとの楽しい会話に夢中で、気にしなかったのではなく、気が付かなかったから。
イクラスメイトにどう見られるかよりも、シNTAXと腹をわって話すことが今は大切だったから。
ウ仲のいい「シンシユン」コンビのことを、クラスメイトはあまりよく思っておらず、いつものことだから。
エ最近ゆっくり話す時間がなく、久々にシNTAXと話せる時間が楽しかったから。

(7) 傍線部⑦「僕たちはそれから、前にもましておしゃべりになった」とありますが、ここから「僕」とシNTAXについてどのようなことがわかりますか。以下の条件にすべて従い書きなさい。

思 四点

条件

- ①「ちがひ」「本音」「理解」の三つを必ず使うこと。 ②「くこと。」につながるように書くこと。
③ 四十五字以内で答えること。

問6 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

① 私たちは、毎日いろいろな種類の野菜を食べています。野菜は植物ですから、根や葉、茎、花、実などの器官からできています。例えば、キャベツやレタスなら葉の部分を食べ、トマトやナスなら実の部分を食べています。

② それでは、私たちが普段食べているダイコンの白い部分は何の器官なのでしょう。漢字で「大根」と書くくらいですから、根のように思うかもしれませんが、そんなに単純ではありません。

③ その疑問に答えるために、ダイコンの芽であるカイワレダイコンを見ながら考えてみます。カイワレダイコンは、双葉と根、その間にノビタ胚軸とよばれる茎から成り立っています。根の部分には、種から長くノビタ主根と、主根から生えている細いひげのような側根があります。

④ これに対して、私たちが食べるダイコンをよく見てみると、下のほうに細かい側根が付いたり、側根の付いていたアトに穴が空いていたりするのがわかります。ダイコンの下のほうは主根が太ってきているのです。いっぽう、ダイコンの上のほうを見ると、側根がなく、すべすべしています。この上の部分は、根ではなく胚軸が太ったものです。①、ダイコンの白い部分は、根と胚軸の二つの器官から成っているのです。

⑤ この二つの器官は、じつは味もチガッテいます。なぜ、チガッテいるのでしょうか。

⑥ 胚軸の部分は水分が多く、甘みがあるのが特徴です。胚軸は、地下の根で吸収した水分を地上の葉などに送り、葉で作られた糖分などの栄養分を根に送る役割をしているからです。

⑦ 根の部分は辛いのが特徴です。⑧ダイコンは下にいくほど辛みが増していきます。ダイコンのいちばん上の部分と、いちばん下の部分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには、植物の知恵ともいえる理由がかくされています。

⑧ 根には、葉で作られた栄養分が豊富に運ばれてきます。これは、いずれ花をさかせる時期に使う大切な栄養分なので、土の中の虫に食べられては困ります。そこで、虫の害から身を守るため、辛み成分をたくわえているのです。ダイコンの辛み成分は、普段は細胞の中にありますが、虫にかじられて細胞がハカイされると、化学反応を起こして、辛みを発揮するような仕組みになっています。そのため、たくさん細胞がコワレルほど辛みが増すことになりました。

⑨ これらの特徴を活用して調理すると、ダイコンのさまざまな味を引き出すことができます。例えば、大根下ろしを作るときに、辛いのが好きな人は下の部分が向いていますし、辛いのが苦手な人は上の部分を使うと辛みの少ない大根下ろしを作ることができます。また、ダイコンを力強く直線的に下ろすと、細胞がハ

カイされて、より辛みが増します。逆に、円をえがくようにやさしく下ろせば、ハカイされる細胞が少なくなり、辛みが抑えられるのです。

① ③、ダイコンの白い部分は異なる器官から成っていて、器官の働きによって味もチカウのです。普段何気なく食べているダイコンも、植物として観察してみると興味深い発見があります。他の野菜はどうでしょうか。いろいろと調べてみると、これまで気づかなかった野菜の新しいミリョクが見えてくるかもしれません。

(1) 傍線部①「その疑問」とは、どのような疑問ですか。本文中の言葉を使って、『く』という疑問』につながるように、十五〜二十字で答えなさい。

思 三点

(2) 傍線部②「二つの器官」の名前をそれぞれ漢字で答えなさい。

思 各一点

(3) ① く ③ に入る言葉としてそれぞれ適切なものをア〜キから選び、答えなさい。

思 各一点

ア だから イ つまり ウ いっぽう エ または オ このように カ しかし キ なぜなら

(4) 傍線部③「ダイコンは下にいくほど辛みが増していきます。」とありますが、それはなぜですか。適切なものをア〜エから選び、答えなさい。

思 二点

ア 根にある栄養分を食べてしまう虫の害から身を守るため。
 イ 葉でつくられた栄養分が、たぷりと根まで運ばれるため。
 ウ 水分が外ににげないように辛み成分が保護しているため。
 エ たくさんの細胞がこわされると、化学反応を起こして、辛み成分を発揮するため。

(5) 傍線部④「これらの特徴」とあるが、ア〜カからあてはまるものをすべて選び、答えなさい。

思 三点

ア ダイコンは根のように思うかもしれないが、そんなに単純ではないこと。
 イ カイワレダイコンが育つとダイコンになること。
 ウ 根は胚軸よりも辛み成分がとても多いこと。
 エ 胚軸は水分が多く、甘みがあること。
 オ ダイコンは細胞がこわれるほど辛みが増すこと。
 カ ダイコンの葉は食べることができること。

(6) この文章の構成として、もっとも適切なものをア〜エから選び、答えなさい。

思 二点

ア	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
エ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問7 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

図1

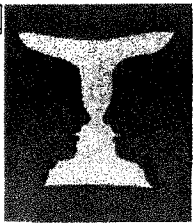


図2



図3



1 自分ではAだと思っていたものが、人からBともいえるとシテキされ、なるほどそうもいえると教えられた経験は多いことだろう。

2 左の図は「ルビンのつぼ」と題されたものである。よく見ると、この図から二種類の絵を見てとることができるはずだ。白い部分を中心に見ると、優勝カップのような形をしたつぼがくっきりと浮かび上がる。このとき、黒い部分はバックにすぎない。今度は逆に、黒い部分に注目してみる。すると、向き合っている二人の顔の影絵が見えてきて、白い部分はバックになってしまう。

3 この図の場合、つぼを中心に見ているときは、見えているはずの二人の顔が見えなくなり、二人の顔を中心に見ると、一瞬のうちに、目からつぼの絵が消え去ってしまう。

4 このようなことは、日常生活の中でもよく経験する。今、公園の池に架かっている橋の辺りに目を向けているとしよう。すると、橋の向こうから一人の少女がやって来る。目はその少女に引きつけられる。このとき、橋や池など周辺のもののは全て、単なる背景になってしまう。カメラでいえば、あつという間に、ピントが少女に合わせられてしまうのである。ところが逆に、その橋の形が珍しく、それに注目しているときは、その上を通る人などは背景になってしまふ。

5 見るという働きには、思いがけない一面がある。一瞬のうちに、中心に見るものを決めたり、それを変えたりすることができるのである。

6 上の図の場合はどうであろうか。ちょっとすまして図の奥の方を向いた若い女性の絵と見る人もいれば、毛皮のコートに顎をうずめたおばあさんの絵と見る人もいるだろう。あるいは、他の絵と見る人もいるかもしれない。

7 だれでも、ひと目見て即座に、何かの絵と見ているはずだが、そうすると、別の絵と見ることは難しい。若い女性の絵だと思った人には、おばあさんの絵は簡単には見えてこない。おばあさんの絵と見るためには、とりあえず、今見えている若い女性の絵を意識して捨て去らなければならない。

8 左の図を見てみよう。ケシヨウ台の前に座っている女性の絵が見えるであろう。ところがこの図も、もう一つの絵を隠しもっている。目を遠ざけてみよう。すると、たちまちのうちに、この図はどくろを描いた絵に変わってしまう。同じ図でも、近くから見るか遠くから見るかによって、全くちがう絵として受け取られるのである。

9 このことは、なにも絵に限ったことではない。遠くから見れば秀麗な富士山も、近づくとつれて、岩石の露出した荒々しい姿に変わる。また、遠くから見ればきれいなビルも、近づいて見ると、ひび割れてすすけた壁面のビルだったりする。

10 私たちは、ひと目見たときの印象に縛られ、一面のみをとらえて、その物の全てを知ったように思いがちである。しかし、一つの図でも風景でも、見方によって見えてくるものがちがう。そこで、物を見るときには、ちょっと立ち止まって、他の見方を試してみよう。中心に見るものを変えたり、見るとききの距離を変えたりすれば、その物の他の面に気づき、新しい発見のオドロキや喜びを味わうことができるだろう。

(1) 傍線部①「このようなこと」とはどのようなことですか。適切なものをア～エから選び、答えなさい。

思 二点

ア 見えているものどこを中心として見るかで、見えるものが一瞬で変わってしまうこと。

イ 中心に見るものは人によって変えることはできないため、他人の助けが必要であるということ。

ウ 自分ではAだと思っていたものが、人からBだと言われると、そう見えてしまうこと。

エ 見るものの距離を変えることによって、見えてくるものが大きく変わること。

(2) 傍線部②「別の絵と見ることは難しい」とありますが、それはなぜですか。適切なものをア～エから選び、答えなさい。

思 二点

ア 始めに見えた絵を、人間は無意識のうちに好きになっているから。

イ 一度見えた絵を、意識して捨て去らなければならぬから。

ウ 一瞬のうちに、中心に見るものを変えることができるから。

エ 即座に見た絵を、人間は意識して正確に覚えようとするから。

(3) 傍線部③「近くから見るか遠くから見るかによって、全くちがう絵として受け取られるのである。」という抽象的な表現に対し、具体例として用いられているものを、文中から④⑤以外の二つを書き抜きなさい。なお、一つは三文字、もうひとつは二文字とする。

思 各二点

(4) この文章で述べられている筆者の考えとして、適切なものをア～エから選び、答えなさい。

思 二点

ア 物をいろいろな見方で見るようにすると、物の他の面が見え、新しい発見の驚きや喜びを味わえる。

イ 自分の物の見方や考え方に自信がない人は、人の意見をよく聞いて物の見方を改めていく必要がある。

ウ これまでの見方を変えて物の新しい一面を見るようにすれば、独りよがりな考え方をしなくてすむ。

エ 一つの見方にこだわって常に物の一面だけを見ていると、考え方を人と共有できなくなってしまう。

(5) この文章において、次の各段落①⑤⑨は、どのような働きをしていますか。ア～カから選び、それぞれ答えなさい。

思 各二点

ア これまでの事例をまとめ筆者の考えを述べている。

イ 文章全体を通して筆者の主張が書かれている。

ウ 導入として、話題を提示している。

エ 前の段落の事例と逆の事例をあげて比較している。

オ 前の段落の事例と似た別の事例をあげて補足し、理解しやすくしている。

カ 絵について詳しく書くことで読者の興味をそそり、文章を読みやすくしている。

(6) 物の見方を変えると考え方が広がったり、全くちがうものとして見ることができるとは、「落ち着きがない」という短所を長所にするには、どのような言い方がありますか？

思 三点

問題は以上で終了です。時間までよく見直しをしておきましょう。

組

番
名前

問1			
⑬	⑪	⑥	①
遺跡	驚く	よくせい	げきど
⑰	⑫		②
破壊	違反	とうえい	もくどく
⑱	⑬	⑧	③
魅力	後悔	うわあご	りりく
⑲	⑭	⑨	④
抽出	捕捉	しゅうれい	かんび
⑳	⑮	⑩	⑤
化粧	伸縮	そくばく	はいじく

問2			
①			
エ			
②			
キ			
③			
ク			
④			
ウ			

問3			
(6)	(5)	(2)	(1)
① 句点なし減点1、文の構成×減点1	① 主	6	① 私の将来の夢は、みんなを笑顔にするために働くことです。 働いてみんなを笑顔にすることです。
	ウ	③ ①	
	述	5	② 彼は、釣りをすることが趣味です。
	エ	②	
	② 主	5	
	エ	③	
	述	4	
	オ	④ ①	
		6	
		②	
		13	

問4			
(5)	(1)		
一連	工藤 直子		
おれの ころも かまも	②	イ	
		③	
二連	かまを ふりかざす すがた	イ	
		④	
		イ	

問5			
(7)	(5)	(1)	
文末句点あり減点1、文複数減点1、語彙減点1、文の構成×減点1、内容?減点2 過去表現◎、現在表現減点2、未来表現×、 30字以上35字以内減点1、30字以内×	シンタとの関係が気まづくなるのは情けないから、勇気があるけどちゃんとけんかしよう。(40文字)	まるで磁石が引き合うみたいに。	
おたがいのちがいを認めて、本音を伝え合うことで、前よりも理解し合えるようになった	と思った。	②	
	⑥	イ	
		③	
		イ	
		④	
		ウ	

問6			
(5)	(2)	(1)	
ダイコンの白い部分ほどの器官なのか(17文字) 普段食べているダイコンほどの機関なのか「白い」抜き減点1、句点あり減点1	根		
(ウ、エ、オ)	胚軸	③ ①	
	ウ	②	
	イ	③	
	ウ	④	
	オ	④	
	ア		

問7			
(5)	(1)		
①	ア		
⑤	②		
ア	イ		
⑨	③		
オ	富士山		
⑥			
明るい、元気、向上心がある、など	ビル		
	④		
	ア		

問7 19
思

60

問6 15

問5 18

問4 8

知

40

問3 問4(1) 16

問2 4

問1 20